

向洋駅周辺土地 区画整理審議会 を開催しました

府中町向洋駅周辺土地区画整理事業

区画整理 だより

〒735-0025 府中町鹿籠一丁目21番6号

向洋駅周辺区画整理事務所（建設部 区画整理課）

☎286-3123（補償係）286-3124（区画整理係）

ホームページ <http://www.town.fuchu.hiroshima.jp/>

第180号（令和7年7月）

第47回広島圏都市計画事業向洋駅周辺土地区画整理審議会

1. 開催日時：令和7年7月7日（月）午後2：00～午後3：00
2. 開催場所：向洋駅周辺区画整理事務所 会議棟
3. 出席者：審議会委員7名
 施行者 府中町長 外11名
4. 傍聴人数：9名
5. 議 題
 - （1）事業の進捗状況について
 - （2）仮換地指定の軽微な変更について【非公開】
 - （3）その他



(1) 事業の進捗状況について

《向洋駅周辺土地区画整理事業》

区画整理事業で宅地となる画地の総面積は7.82haで、そのうち令和6年度末現在の画地整備面積は6.11ha、画地整備率は約78%です。

全面地数329画地のうち、使用収益を開始している画地は、令和6年度末で237画地であり、使用収益開始率は約72%です。区域内の建築棟数は、令和6年度末で102棟です。

令和7年度は、令和8年度以降の本格的な画地整備に向け、14街区などで従前家屋の構造物基礎撤去を行います。また、連立事業の高架工事の進入路を確保するため、都市計画道路向洋駅北口線の一部で従前家屋の構造物基礎撤去を行います。

《広島市東部地区連続立体交差事業》

広島県が施行する連続立体交差事業は、平成 14 年 3 月に当初の事業認可を取得し、事業を実施していましたが、平成 24 年度に見直し検討することが公表された後、約 7 年間の中断期間を経て、令和元年 10 月に事業認可を取得し本格的に事業が進められています。

令和 3 年 6 月に鉄道工事に着手し、令和 7 年 1 月には鉄道全 4 線のうち 3 線の敷設が完了しています。

今年度は、4 線目の仮線敷設を行い、その後に高架橋の工事に着手するとのことです。高架橋の工事は、下り線を先行して高架化し、運行を開始した後に上り線の高架化を行い、両線路の高架化が完了した段階で不要になった仮線を撤去して工事完了となります。

現在の計画における事業施行期間は令和 19 年度までで、工事区間がⅠ期とⅡ期に設定されています。府中町域はⅠ期の工事区間に該当し、令和 12 年頃の完成見込みとなっていました。

しかし、令和 7 年 6 月 18 日に広島県から「広島市東部地区連続立体交差事業の進捗状況及び今後の見込み」について公表があり、事業費の増額と完成時期の延伸が見込まれます。府中町が施行中の区画整理事業にも影響があるため、その詳細については議題(3)で報告しました。

(2) 仮換地指定の軽微な変更について【非公開】

仮換地指定の軽微な変更 2 件について報告しました。

(3) その他

「広島市東部地区連続立体交差事業の進捗状況及び今後の見込み」について

令和 7 年 6 月 18 日に広島県から、向洋駅周辺（Ⅰ期区間）の連続立体交差事業の今後の見込みについて公表がありました。

広島市東部地区連続立体交差事業は、令和 3 年度から工事着手し、現在、Ⅰ期区間である向洋駅周辺の鉄道高架区間約 2 km の仮線路工事が進められています。しかし、工事着手後のコロナ禍などの影響や、建築資材の高騰・労務賃金の上昇、働き方改革などの社会経済情勢の変化などにより、Ⅰ期全体事業費が 447 億円から約 700 億円に約 250 億円の増額（うち府中町が関係する広島県施行分は 262 億円から約 420 億円に約 158 億円増額）、完成時期が令和 12 年度頃から令和 15 年度頃に約 3 年延伸する見通しとなりました。

これにより、連立事業と一体的に実施している区画整理事業についても、現在仮線として利用している区間の工事着手が遅れる等の影響が見込まれます。

今後、連立事業の事業主体である広島県により国と協議が進められ、令和 8 年度に連立事業の事業認可変更が行われる予定です。

町としては、その変更を受けて区画整理事業の事業計画の見直しを行うとともに、広島県と連携を図りながら、地権者の皆様への影響を最小限に抑えつつ、区画整理事業を進めていきたいと考えています。

質疑は全体で 9 件ありました。